



議会だより

第 138 号

平成25年11月15日発行

平成 24 年度各会計決算の概要	2 ~ 3
平成 24 年度各会計決算総括質疑	4 ~ 6
こんなことが決まりました	7 ~ 9
一 般 質 問	10 ~ 14
研修会・議会活動日誌	15
町の歴史・文化財紹介	16

(睦沢町指定有形文化財・歎喜寺御朱印状)



一般会計決算

9月定例会

歳入総額 31億4,372万円

(前年度比11.6%減)

歳出総額 30億2,923万4千円

(前年度比10.0%減)

※この決算報告の額については、千円未満を四捨五入しています。

若者世帯の定住支援 放射性物質の検査体制整備

平成25年第3回議会定例会は、9月11日、12日の2日間を会期として開催されました。

提案された13議案は質疑の後、原案どおり可決、発議案1件が採択されました。

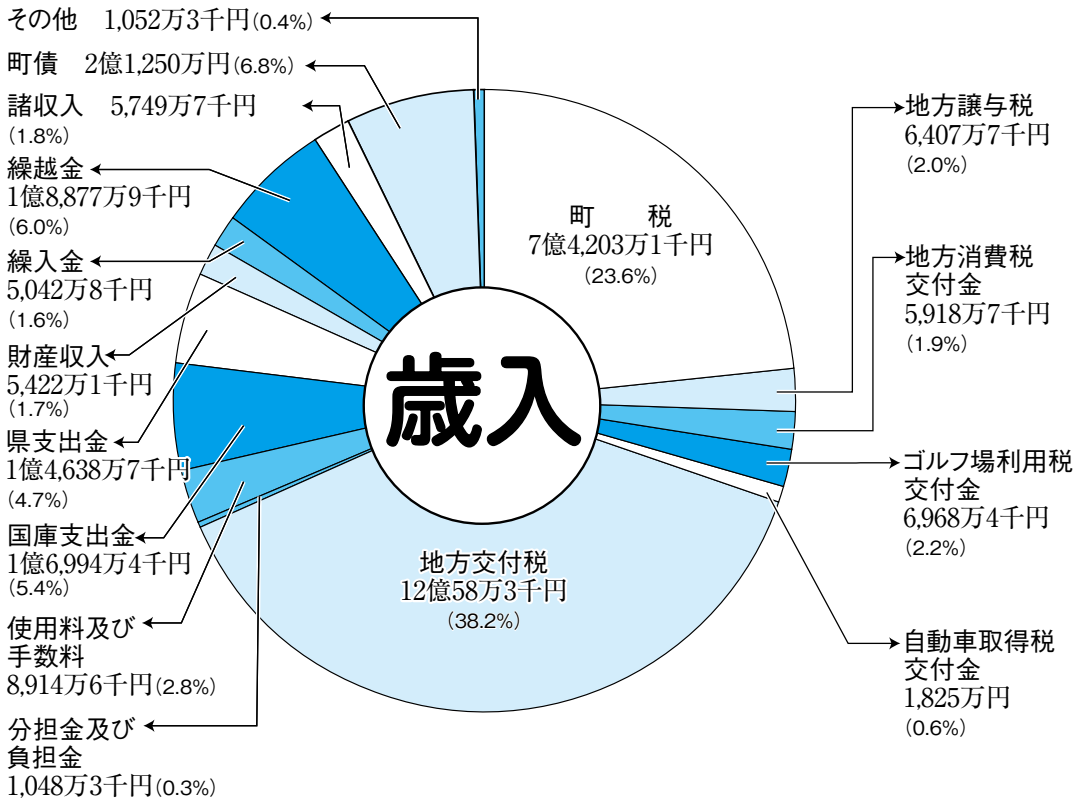
平成24年度一般会計外5特別会計決算は、総括質疑を行い、決算審査特別委員会を設置し審査を付託しました。一般質問は、5議員が行い町政の課題を問いました。

決算の概要

財政面では、経常収支比率の減少、財政調整積立基金の増額や町の債務の減額など、財務指標などは改善傾向にあります。

一方、厳しい雇用情勢や少子高齢化による給与所得者の減少など財政基盤が安定しているとはいえない状況です。

主な事業は、全国瞬時警報システム導入、若者世帯の住まいづくり・定住への支援、がん検診による病気の早期発見・治療、有害鳥獣駆除、環境にやさしい農業の共同活動への支援、放射性物質の検査体制整備、海抜表示、土睦小バリアフリー化工事、子ども園地域子育て支援などです。



決算審査特別委員会を設置

平成24年度各会計決算を審査するため特別委員会を設置、委員に副議長と各常任委員会から2名を選出したの7名が選任されました。また、オブザーバーとして議長が出席しました。

委員会委員構成

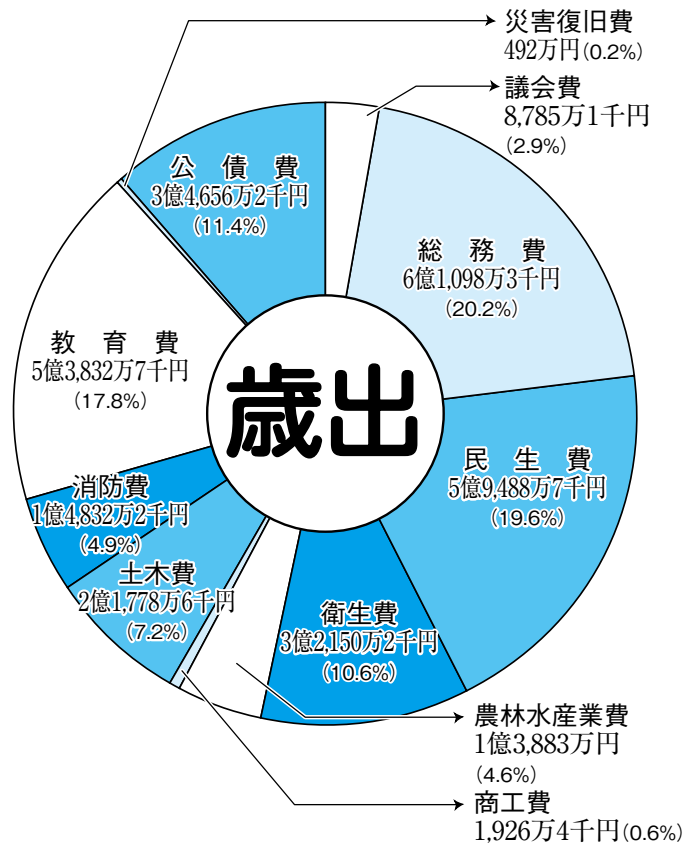
- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 幸治 | 正雄 |
| 副委員長 | 麻生 | 安夫 |
| 委員 | 市原 | 重光 |
| | 田邊 | 明佳 |
| | 幸治 | 孝明 |
| | 田中 | 憲一 |
| | 今関 | 澄男 |



審査する特別委員会



妙楽寺駐車場トイレの視察



特別会計決算

国民健康保険特別会計

収入総額 **11億2,265万1千円**
 歳出総額 **10億3,654万9千円**

加入状況は1,378世帯、被保険者数2,541人です。歳出の主な内容は、療養給付費、後期高齢者支援金、特定健診及び保健指導、人間ドックの助成等です。

農業集落排水事業特別会計

収入総額 **6,467万2千円**
 歳出総額 **6,089万9千円**

農業集落排水処理施設は142戸へ供給、特定生活排水施設が247基です。歳出の主な内容は、農業集落排水事業による施設の維持管理費、特定生活排水事業費等です。

介護保険特別会計

収入総額 **6億4,996万3千円**
 歳出総額 **6億3,599万7千円**

介護認定者は昨年比27人増、サービス利用は昨年比26人増です。歳出の主な内容は、保険給付費、介護予防事業・総合相談事業・包括支援事業等です。

かずさ有機センター特別会計

収入総額 **2,748万3千円**
 歳出総額 **1,460万9千円**

歳出の主な内容は、かずさ有機センター運営経費です。

後期高齢者医療特別会計

収入総額 **7,465万4千円**
 歳出総額 **7,437万7千円**

被保険者数は、特別徴収が1,132人、普通徴収が300人です。歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金、人間ドック補助金16名分等です。

(報告第1号)
平成24年度陸沢町健全化判断比率
 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定による、健全化判断比率が監査委員の審査に付され、その意見をつけて議会に報告、公表されました。
 平成24年度は昨年度より率が下がり、健全化の方向です。

(報告第2号)
平成24年度陸沢町農業集落排水事業特別会計資金不足比率
 公営企業としての、陸沢町農業集落排水事業特別会計資金不足比率についても報告第1号同様に報告、公表されました。
 資金不足そのものはありませんでした。

※表中の実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と記載しています。

指標	平成23年度	平成24年度	早期健全化基準	財政再生基準
ア 実質赤字比率	-	-	15.0	20.0
イ 連結実質赤字比率	-	-	20.0	30.0
ウ 実質公債費比率	9.9	9.5	25.0	35.0
エ 将来負担比率	49.0	39.2	350.0	

一般 会計

総務

疑

田邊明佳議員 町長のやりたいことと財政の健全化のバランスをどうとっていくのか。

町長 総務課長・副町長を含め打ち合わせを行い、年次計画のもとに進めています。

議員 個別受信器を年一回点検してもよいのでは。

総務課長 点検は、原則借り受けている方となっています。

市原時夫議員 将来負担比率の誤りの是正問題の影響はようになったのか。また、どのようにして見つかったのか。

総務課長 多方面に影響が考えられます。今後、チェック体制等を充実させます。また、誤りについては財政健全化判断比率を算定する過程で職員が見つけたものです。

議員 監査で内部統制組織について指摘しているが、その内容について聞きたい。



土睦小エレベーター (バリアフリー化)

代表監査委員 日々の中で内部統制ができるような組織を考えたらどうか申し上げました。

議員 パソコンのOS・XPはサービスマンで障害になつてくるのでは。

総務課長 職員パソコンの主流はウインドウズ7になつていきます。

議員 海抜表示25か所の設置場所は。

総務課長 各地区の一時避難所の周辺に設置しました。

今関澄男議員 決算の参考資料は内容を精査すべきでは。

総務課長 年々資料が増えていますので関係者と協議させていただき、精査してまいります。

議員 新地方公会計制度に基づき財務4表は23年度が配付されていないが。また、財務4表のシステム構築についてどう考えているのか。

総務課長 23年度の作成につきましては、時間を要しております。システムにつきましては現在国で進めている統一的な制度の方向性を見据え検討していきます。

議員 国の方向を待つのではなく、本町独自のものを編み出し取り組んでほしい。

総務課長 内部で検討し、前向きに取り組んでまいります。

議員 ふるさと納税のPR方法等検討すべきでは。

総務課長 ホームページだけでなく、何らかの機会にアピールしていきたいと思っています。

議員 毎年いただいている方へのフォローをすべきでは。

総務課長 少額ではありませんが、納税された方には文書、お礼の品等出しております。

財政

幸治正雄議員 固定資産税の今後の見通しは。

税務住民課長 固定資産税は景気の動向に左右されるため上向きの方もあると期待しています。

今関澄男議員 税徴収員はどのような体制で業務を行っているのか。また、不納欠損にならないための取り組みは。

税務住民課長 昨年試行的に2か月間、週2日ほど2名体制で夜間回りました。返答のなかった方々に直接会うことができ、効果は190万円程ありました。



設置された標識

疑 質 括 総



町商工会女性部 かかしコンテスト

不納欠損額への取り組みは低額の方でも分納を進めること、前年度課税分の徴収を怠らないことです。

町長 全体の賦課額が減っているのですが、率については向上に向け努力して行きます。

幸治孝明議員 税の収納について、提案理由説明書に管理システムの活用、千葉県滞納整理推進機構との連携とあるが、元々あったものなのか、それとも新しく取り入れて成績を上げているということか。

ムはパソコンで滞納者を管理しているという意味での滞納管理です。推進機構との連携は徴収率の低い市町村では県職員の派遣依頼等しますが、本町では町長と共同の名前で督促状を送るといった意味での連携体制です。

福 祉

市原時夫議員 独居老人等の緊急通報の回数が多いが

その分析は。健康福祉課長 業者の方からの定期的なものが入っています。

環 境

市原重光議員 むつみニュータウンの下水道の改修については、スピード感を持って財政にかかわるところを十分検討してもらいたい。

町長 地元住民への説明を急ぎます。今後、改修財源をどのように考えるか、国の補助をもらうことによつて、改修費用が軽減できないか十分模索をしてみたい。

議員 農地水の制度について、地域の声を聞いて積極的に取り組んで欲しいが。
町長 地域住民が一体となつて協働の精神でこれからも進んでいきたいと思えます。

今関澄男議員 有害鳥獣だが、専門職員によるチームの組織化や指導等の取り組みを考えるべきでは。

生活環境・地域整備担当主幹 チーム等については町

長と協議させていただきたいと思えます。

町長 県にお願いしながら十分対策を練つて取り組んで行きたいと思えます。

田邊明佳議員 佐貫地区でキヨンが見られるようになったと聞いているがその対策は。

生活環境・地域整備担当主幹 昨年からは有害鳥獣捕獲許可の中にキヨンを入れました。

議員 有害鳥獣は、駆除するだけではなく、他の考えはないのか。

主幹 住民の方から相談があれば、直ちにその現場やお宅に伺い対応しています。また、罠などいろんな形のものを設置している状態です。

議員 広がるのをどうするか聞いているが。

町長 根本的な解決方法を県・国に研究していただいで、そういう方向に持っていきたいと思えます。

教 育

市原時夫議員 高校までの医療費の無料化や子どもた



シルバー人材センター講習会

ちの町づくりなどのソフト事業をもっと打ち出しては。
町長 今は、全面的にハード面を出しながら若者に希望を持たせる等、高揚感を持った中で進めています。時期を見てソフト面に取組んでいきます。

議員 中学校の古くなった図書は、新しいものにする予算不足とならないか。
教育課長 希望等を把握して新年度予算編成時に対応していきます。

総括質疑

国保特別会計

市原時夫議員 国保から後期高齢者医療へ移った方の人数と国保被保険者数の増減は。

国保健康担当主幹 後期高齢者医療へは90名移りましたが、国保は、新たな加入もあり、63名の増加です。議員 人間ドックの利用者状況は。
主幹 前年度は96名で、今年度は113名です。うち脳ドックは9名です。

農集排特別会計

市原時夫議員 特定地域生活排水処理事業は、当初予算より減額し、さらに2千万円の不用が出ていますが、工事見込みに誤りはなかったか。

生活環境・地域整備担当主幹 合併浄化槽からU字溝までの延長が短い工事が多かったことによる工事費の減少が要因です。

介護保険特別会計

市原時夫議員 施設利用より地域密着型の利用が増えているが、制度改正による施設利用自粛はないか。

健康福祉課長 毎月調査・判定をしております、制度改正の影響ではなく、利用者の動向によります。
幸治孝明議員 入居希望者の待機状況と施設拡充計画は。
健康福祉課長 待機状況は、現在73名です。
認知症の方へのグループホームや老人介護施設60名の建設を予定しています。

かずさ有機センター特別会計

今関澄男議員 環境保全型直接支払い交付金の実施状況は。
酪農家の使用料の未済額の内容は。
ブランド米の確立に向け、たい肥を使用する生産者の拡大施策は。

地域振興課長 環境保全型の実施は、42団体76haでした。環境保全型ではない部分と合わせると110haです。使用料は、時期がずれたことにより増えるので、今後はないと思います。
もみ殻たい肥の活用は、補助事業の推進ができるようになったので、もみ殻などの回収拡大も含め、使用者の拡大を進めます。
町長 良質なたい肥の量の確保で、安心してエコ農業に取り組める体制を確立します。
市原重光議員 ふん尿の持ち込みが減っているが。
地域振興課長 使用料金の改定前の反映です。値下げ後は増えています。
町長 酪農経営の厳しさが、今後、持ち込みが減ってくる心配もあります。搬入されていない酪農家へもご理解をいただき拡充します。
市原時夫議員 一宮町の推進への認識はどうなっているのか。
地域振興課長 かずさ有機センター運営委員会は両町で行っており、連携を取っています。
町長 一宮町での施設園芸

後期高齢者医療特別会計

市原時夫議員 後期高齢者医療の対象者の増加状況は。国保健康担当主幹 24年度は1千322名で増加し続けています。

では自分でたい肥を作る従来の方法を変えたくないという考えもありますが、総合的に拡大していく方向では十分認識しており進めていきます。



ふれあい食卓便



住民提案事業によるひまわり畑 (大上)

こんなことが決まりました

(議案第1号)

地方税における延滞金の割合等に見直しに伴う関係条例の整理に関する条例

地方税の改正により延滞金等の見直しが行われたことに伴い、睦沢町税条例の一部改正に準じて関係条例を整理し改正するものです。

質疑

市原時夫議員 この延滞金の条例の改正は、適用の範囲の拡大と解釈でよいか。
総務課長 その通りです。

(議案第2号)

睦沢町税条例の一部を改正する条例の制定

65歳以上の公的年金受給者の町民税の特別徴収算定方法の改正により平準化します。

非課税であった公社債の譲渡損益が税率20%の分離課税になります。上場株式等の配当と譲渡損益との通算が、特定公社債の利子などでも可能となります。

質疑

市原時夫議員 現行の株式

等の配当の通算ということ、株式部分での減税となり問題があると思うが、地方自治体の課税分としては増えるのか。

税住民課長 今回、特別公社債が、配当割扱いになり、この先、所得の部分では増えます。

今関澄男議員 実施期がかなり先なのだが、条例の実施にあたっては、町民への周知徹底をすべきでは。

税住民課長 そのように改正手続きを踏んでまいります。

(議案第3号)

睦沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

所得割課税に対し、新たに金融所得課税の一体化に伴い上場株式等にかかわる分離課税の規定を加えます。

質疑

市原時夫議員 税率の上での変化はないのか。

税住民課長 所得への見直しです。国保税所得割への影響があるということです。

(議案第4号)

睦沢町商工業近代化資金利子補給条例の一部を改正する条例の制定

千葉県中小企業振興融資資金貸付要綱の改正による、大型店進出対策資金項目の削除と制度利用者の取り扱い金融機関の拡充・利子補給の資格の改正です。

質疑

市原時夫議員 取り扱い金融機関を長生郡市から、千葉県内へと広げることだが、どんな意味があるのか。また、運営資金への制度利用の拡充はないのか。

地域振興課長 制度改正により利用できる金融機関の対象も増えたことにより、また、運営資金への対応はしていません。

(議案第5号)

平成25年度睦沢町一般会計補正予算(第2号)

2億8千191万6千円を追加し、補正後の予算額は35億3千162万4千円となりました。

歳入は、普通地方交付税

に8千355万3千円の追加、国庫支出金として、社会資本整備総合交付金582万円の追加、県支出金として、グループホームの建て替え、新設などへの交付金6千500万円、緊急雇用創出臨時特別基金事業補助金7千405万9千円などです。

歳出では、若者定住型賃貸住宅の追加建築にかかる費用1億80万円、議場シテムの改修工事費1千249万5千円、こども園一部底地の土地購入費用960万円、ガイドブック作成など雇用創造事業委託金7千405万9千円、自主防災組織用倉庫購入など419万1千円、健幸むつざわロードレース大会費用360万円が主なものです。



こんなことが決まりました

質疑

市原重光議員 ふるさと創生基金繰入金の減額補正は、基金条例に基づいたものと思われるが、各種基金のあり方を精査しては。

総務課長 現在の経済状況に合わせた検討が必要と考えます。

市原裕一議員 寺崎地区に集会施設の建設が予定されているようだが、場所、資金、避難所としての問題があるのでは。

政策企画担当主幹 場所はやすらぎの家の下の駐車場を、資金面では補助事業でやすらぎの家と同程度のものと考えています。

また、地震による津波と大雨が同時に起こることは想定しておりません。建物に避難できない人であふれる場合は広域避難所へということとなります。

幸治正雄議員 住宅建設費の付帯工費が減額だが。

また、住宅リフォーム助成金100万円は何軒分か。そしてこの制度はいつまで続けるのか。

政策企画担当主幹 敷地内

の外構工事を付帯工事から住宅建設工事に組み替えたためです。

生活環境・地域整備担当主幹 8件の申請があります。1件当たりの金額は様々です。

制度は3年間と考えています。

議員 3年といわず財源を確保しては。

町長 評判もいよいよなので、今後の活用を念頭においています。

幸治孝明議員 集会施設補助金も出るようになったのか。

政策企画担当主幹 町の地区集会施設にかかる補助金交付要綱により補助金を出しています。

市原時夫議員 議場機器改修の積算書は高くないか。また1社というのは。

総務課長 マイク不具合による録音不能が予測され、カメラの回転不具合もあります。1社との契約は、議場の構造上点検口もなく配線の調査も難しく現在の装置を設置した会社にせざるをえませんでした。見積り

額は県内市町村の実績を参考にした予算計上です。

議員 太陽光発電、リフォームはどれくらい件の数を見込むのか。

また、緊急雇用法の雇用の人数と内容は。

生活環境・地域整備担当主幹 太陽光発電は20基、リフォームは8件です。

地域振興課長 40名ほどを予定し、町のガイドブック作成と、役場書庫の整理、道路台帳の電子化業務です。

議員 観光のガイドブックが多く出されているが、それだけでなく学童クラブ、シルバー人材センター、資料館、学校給食など町のアピールをしたらどうか。

課長 色々なパンフレット等がありますので、今回は観光という形で考えています。

今関澄男議員 開設される介護施設の場所と事業者は。健康福祉課長 場所は、上之郷地先で事業者は、有限会社かづみです。

議員 リバーサイドタウン8区画の前倒しの訳は。

政策企画担当主幹 応募が

多数ありましたので、次年度分を平成25年度に前倒しするものです。

市原重光議員 今回新しく応募した人の審査点数が、前回応募者より高い場合はどうするか。また、将来若者を中心とした定住だけでなく、違う発想も必要では。

政策企画担当主幹 募集はいったん区切っていますので、新たな応募として点数をつけるということです。

町長 視点をかえて、土地の有効活用と新しい補助制度を活用していきます。

荻野新衛議員 30周年行事で、後世に何か残せるものを実行委員会を検討したのか。

総務課長 広報の縮刷版と梅の木を各世帯に配布します。

議員 寺崎のコミュニティ1施設の場所は、今の場所で決定済みなのか。

政策企画担当主幹 区で協議し、場所は駐車場の位置



梅林 (河須ヶ谷)

で決定と伺っています。

議員 グループホームには、町内の待機者が優先で入れるのか。

健康福祉課長 地域密着型ということでは町内の方が優先されます。

議員 耕作放棄地で大きく梅林を作ってもいいのでは。

町長 住民提案事業で、妙楽寺地域に第二、第三の梅の里をつくりたいという案がありますので前向きに検討していきます。

こんなことが決まりました

(議案第6号)

平成25年度陸沢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

2千488万円を追加し、補正後の予算額は10億6千889万2千円となりました。

歳入は職員給与等繰入金、24年度からの繰越金の追加です。

歳出は人事異動による人件費、24年度療養給付費等負担金等の精算に伴う償還金等です。

質疑

市原時夫議員 償還金は結果として毎年補正を使うが、一定にしておいても良いのではないか。

国保健康担当主幹 翌年に実績がでて初めて償還金の額が決定しますので、毎年科目設定で予算を計上しています。

(議案第7号)

平成25年度陸沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

15万円を追加し、補正後の予算額は8千543万6千円

となりました。

歳入は特定地域生活排水処理事業分担金で若者定住賃貸住宅8棟分の追加、人事異動に伴う繰入金の減額です。

歳出は浄化槽設置工事等です。

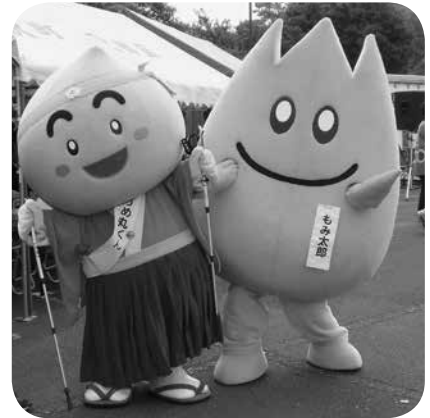
(議案第8号)

平成25年度陸沢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

1千34万5千円を追加し、補正後の予算額は6億9千248万円となりました。

歳入は人件費の増額による繰入金追加、国県社会保険診療報酬支払基金並びに介護給付費交付金等の精算に伴う返還金の財源としての繰越金の追加です。

歳出は職員の人事異動に伴う人件費の追加、国県社会保険診療報酬支払基金への前年度精算による返還金及び町からの繰入金の前年度精算による一般会計への繰出金です。



(議案第9号)

平成25年度かずさ有機センター特別会計補正予算(第1号)

1千287万4千円を追加し、補正後の予算額は3千443万8千円となりました。

前年度繰越金を機械等の更新費用に充てるため、施設等整備基金への積立金を追加するものです。

質疑

市原時夫議員 基金の活用見込みは。

地域振興課長 たい肥散布機械、かくはん機の大規模な改修等に充てたいと思います。

(議案第10号)

平成25年度陸沢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

336万5千円を減額し、補正後の予算額は7千24万1千円となりました。

人事異動に伴い人件費を減額するものです。

(議案第11号)

契約の締結について

町は、次の通り契約を締結することといたしました。目的 陸沢町防災行政無線デジタル化

金額 9千690万4千500円
契約者 三信電気(株)
履行期限 平成26年3月28日

(議案第12号)

陸沢町教育委員会委員の任命の同意

任期満了に伴い次の方を任命することに同意しました。

住所 陸沢町下之郷
氏名 高梨 正一 氏

(議案第13号)

陸沢町教育委員会委員の任命の同意

教育委員の退職に伴い、次の方を任命することに同意しました。

住所 陸沢町北山田
氏名 飯塚 薫 氏

(議案第1号)

陸沢町議会改革特別委員会の設置

陸沢町の議会改革に関する調査・検討を行うため、地方自治法第109条及び陸沢町議会委員会条例第5条の規定により陸沢町議員全員に設置されました。設置期間は、議員の任期です。



年間を通し集客率の高い 観光事業の推進を

町長 観光協会・商工会との連携を強化

5年、10年後を考え、町の木である梅や文化財等を核とした観光面に力を入れていくべきと考える。

従来のような単体のイベントだけではなく、年間を通して集客できる充実した観光事業の基本的な考え方を明確にして推進すべきでは。

町長 梅林としての景観を観光に活用し、梅の実の商品開発は、今後の第6次産業の推進に欠かせないものと考えています。既に梅林等を管理している団体への普及や遊休農地の新たな活用も進めています。

議員 町の特産物として新商品開発をどのように進めていくのか。

町長 売れる商品の開発は梅の町としてのPRには欠

かせません。生産者、商工関係者との話し合いを深めながら梅製品の開発を進め梅生産の拡大と景観の構築につなげてまいります。

議員 文化財や史跡等を整備し、年間を通して集客できる観光面に力を入れるべきではないか。また観光面を充実させるためのホームページを立ち上げる必要性があると思うが。

町長 文化財も地域資源と捉えらるとともに、町観光協会や商工会との連携の中で、観光資源の整備を進めながらPRの充実を図っていきます。

また、PRについては新しい手法を取り入れていきます。

議員 若い人たちに住んでもらえる地域づくりとして



重要文化財 妙楽寺 大日如来坐像

癒しの場である公園が必要だ。

自然豊かな環境づくりとして、女ヶ堰や今堰等を活用して四季を通じた花の公園が必要と考えるが。

町長 地区における花壇や遊休農地を利用した景観作物の栽培などが行われており、各公園管理者との協議

の中で提案させていただきたいと思います。また、住民提案事業も活用していきます。

議員 町内外に大きくPRするには、るるぶ千葉で掲載してもらう手段があるが、**町長** るるぶ陸沢を作成する方向で進めています。

町政の課題を問う

一般質問

荻野 新衛 議員

学校等問題調査検討委員会 委員に副町長等必要か

教育長 行政面を総括する立場から

学校等問題調査検討委員会委員23名だが、多すぎないか。副町長、総務課長、主幹を入れる必要性がないと思う。

委員会の期間はどのくらいなのか。

教育長 期間は2年です。

委員会の目的が本町における小・中学校、こども園にかかる諸問題の調査検討を行い将来の望ましい教育環境のあり方を見出すことですので各層からの意見をいただくため、23名となりました。町職員は、行政面を総括する立場からです。

議員 問題を出すのに2年の期間が必要とのことだが、民間企業なら倒産してしまう。

問題を提起して、その解決策を考えて、すぐにできるところから対処する、そういう姿勢が必要だと思う。親方日の丸的発想だ。一刻も早く児童、生徒のためになることをすべきと考える。

副町長等については、オプザーバーで良いと思う。

教育長 学校等問題調査検討委員会の2回目に施設の

老朽化、給食のあり方、望ましい小学校のあり方、安心安全な学校づくり、幼、小、中の連携、夢のある学校づくりということで見解が出されました。

問題点の解決は

学校等問題調査検討委員会と相談

議員 教育委員会として学校の問題点や課題等について、どう把握しているか。

教育長 現在、教育委員会で把握しているものと学校等問題調査検討委員会で検討された結果について十分すり合わせを行い、将来の望ましい教育環境のあり方を見出し出していく考えです。

議員 教育委員会で把握していることと学校等問題調査検討委員会とすり合わせしていくとのことだが、私の質問は町の教育問題を教育委員会はどうか認識しているのか聞いている。

教育委員会は、問題点や課題に対し一日も早く対応し、早く解決することだと思ふ。

私の考えでは、
○児童、生徒の安全の確保、災害、交通事故、変質者、

いじめの問題、いじめられても生き抜く力をつけること。

○学力向上、分数の計算ができない大学生が増加している社会の中で一定の学力は必要と思う。学校だけでなく別の形でどう学力をアップさせるか。道徳やコミュニケーションや社会で対応できるような対策。

○施設の老朽化、特に中学校の給食棟は以前から出ている問題である。

○両小学校の生徒数の減少に伴う解決策、陸沢に小学校



学校等問題調査検討委員会

2校必要なのか、統合して教育の充実を図ることとか、どうすれば生徒のためになるのか、そういう諸課題を解決するのが教育委員会の一つの仕事ではないか。

教育長 当然教育委員会としても把握している事項であり、現実問題として検討委員会とも今相談しているところです。

6項目について、できることから検討委員会より提言をいただくということと考えています。

市原 時夫 議員

津波被災者受け入れも 含めた対策を

町長 長生郡市広域災害対策計画の中で策定しました



町民世論が、合併から町としての自治を守った中で、30周年だが、安全面では、巨大地震がいつ来るかわからない中で防災計画見直しを急ぐべきだ。

津波被害による近隣町村からの被災者受け入れも検討しているか。

町長 防災計画の見直しは、各種資料の収集が終わり、

検討段階に入っています。平成26年度末に完了する予定です。

地震被害想定は、平成19年度の調査結果をもとに進めており、町としての独自調査は考えていません。海岸線と接する近隣市町村の津波被災者受け入れの体制は、25年3月に作成した長生広域災害対応計画を

本日お配りしました。

本町では、一宮町の328人の被災者受け入れを想定しています。

議員 福島原発事故は、放射能汚染水流出が続き、収束されていない。漁民も窮地に立たされている。原発がなくとも、電力供給に影響がないことも証明された。すべての原発の一

日も早い廃炉計画に着手すべきと考える。

自然エネルギーの活用が広がっている。東電関連企業の調査結果に頼るのではなく、独自に専門家の意見も聞き、検討すべきではないか。

就学援助制度の拡充を

近隣町村との平準化の中で

議員 貧困と所得格差の広がりが、次世代へ連動する事態にまで至っている。教育の機会均等が奪われてはならない。町の必要保護児童生徒援助費支給要綱を見ると、体育実技用具費など実際に必要不可欠な費用への適用がない。改善すべきでは。

また、制度への各学期ごとの申請書の配付、生活保護基準1.5倍への改善、生活保護基準引き下げによる対象はずしをしないことなど改善すべきと思うが。

申請書への民生児童委員の意見添付は、必要なくなつたはずだ。

町長 エネルギー活用手段として町の資源である天然ガスの早期実現に努力します。また、その他の資源は現状では太陽光しかないと思います。

教育長 保護者の負担軽減は、他の部分での町独自の軽減も実施しております。ご理解ください。学期ごとの周知はします。

基準の拡充については近隣町村との平準化を図っており変更は考えていません。申請書への意見書添付については、法律改正の内容を確認させていただき対応します。

議員 国保の均等割は、全く収入のないことからも徴収する仕組みでありおかしい。

町長 減免範囲の拡充は行わない考えです。

一般質問

田中 憲一 議員

専門知識を持った人材・ 組織の人事になっているか

町長 任期付き職員の任用により、専門分野をカバー

地域住民の意向を反映した主体的な意思決定や、地域の特色を生かした行政展開が可能になるように地域主権改革が進められている。権限移譲により行政の責任が増し、専門知識を持った人材・組織の人事になっているか。

町長 専門知識を持った職員が求められています。

一方、人事面では職員の定数が制限されているため、専門職の採用については、多くの職種にそれぞれ採用することは難しく、当分の間は任期付き職員の任用により、専門分野をカバーしていきます。

職員の育成については、一般職の職員であっても専門分野の研修に積極的に参加させ知識の習得を図っています。

議員 地方公務員は解雇がないため、目的意識を持たない職員が生まれやすいのではないか。

睦沢町職員の評価システムは目標を自ら立てることなく評価値が出ているようだが、職員のやる気に繋が

る性質の評価システムのほうが良いのではないか。

町長 目標に向けた達成による評価は現状ではメリット・デメリットがあり本町にはそぐわないと考えます。仕事に前向きで勤務成績

上市場通学路の安全対策は

工事完成まで交通指導をお願いします

議員 県道茂原夷隅線(上市場)の道路改良事業が進められているが、工事完成までの通学路としての安全対策はとても重要だ。土睦小学校・睦沢中学校の児童・生徒の半数以上が毎日登下校で利用している。対策についての考えは。

町長 工事完成までの交通安全対策としては、PTA活動による交通指導、交通安全推進隊・防犯ボランティアや老人クラブのみならずによる登下校時の活動、上市場駐在による街頭指導等を引き続きお願いします。

また、長生土木事務所及び茂原警察署に対しても交通安全対策を積極的に要望し、児童生徒の安全を守つ

の良い職員については、早期に昇給や昇格をさせるなどの優遇により士気の向上を図っています。職員のモチベーションの向上と専門分野にも対応できる組織作りに努めます。

ていきます。

議員 学校等問題調査検討委員会で教育現場のハード面、ソフト面の課題については話し合いがもたれているが、中学校給食棟の老朽化は対応を急がなければならぬ状態であり、ハード面について町長はどう考えるか。

町長 中学校の給食棟については昭和51年に建築されたもので既に築37年を経過しており老朽化は顕著です。学校給食については、睦沢町の伝統でもある自校方

式の存続が望ましいと思いますが、現在の給食棟を改築し、同じ形で自校方式を継続することは考えていません。

平成22年に新築した土睦小学校の給食棟を活用すれば、中学校と距離的にも近いことから自校方式に近い形の運用が可能だと考えます。今後、教育委員会や保護者をはじめ住民の方々の意見を最大限に尊重して決定していきます。



地域振興課

田邊 明佳 議員

農業の活性化へ 職員採用の効果は

町長 農家との信頼も深まり目的達成にまい進



農業の振興・活性化のために県の元職員を採用したが、どのような仕事をして、どのような効果があらわれたのか伺いたい。

議会では畜産や集落営農に力を発揮していただくと聞いていたが、活動内容が見えないが。

町長 町の農業については県職員で普及員として経験豊富な方を採用しました。

営農組織の育成、農産物の生産指導、環境保全型農業の推進と米のブランド化など、本町の農業の課題克

服のため積極的に農家の方の中に入り、アドバイス等を行いながら目的達成にまい進しているところです。

なお、年度当初からの取り組みで事業内容も広範なことから性急な成果を上げられておりませんが、農業生産者との信頼も深まり、職員への影響、県との連携など新しい効果を得られています。

議員 即戦力として入れたのに半年も過ぎて、その程度ではいかがなものか。もみ殻回収などもしてい

るそうだが、それはパートでもできる仕事であるし、特別な効果を期待して入れているのにそれでは今いる職員にも良い影響を与えないと思うが。

町長 初めて睦沢に来た方ですから、町の特性を把握

公民館バスの運用は適正か

学校、役場など特例はありません

議員 公民館バスの使用申し込みの際に使用規定にそぐわない、3か月以前からの予約受付があったとの苦情を町民の方からいただいたが、バスの運用は適正になされているのか。

また、その3か月以前に申し込んだ申込者の一覧を教えてください。

教育長 申請にあたっては使用日の3か月前から7日前までに申請書類を教育課長に提出しなければならぬということになっています。しかし、学校関係及び役場等において年間計画の決まっているものについては特例として予約を入れています。



イノシシに荒らされた大豆畑

していませんし、今いる職員がその方の専門性をうまく利用しきれっていないのではないかと思います。私の考えとも違うところがありましてので指導しましたし、今後目に見えてくると思います。

使用一覧につきましては受付簿を確認して検討します。



講演する三原じゅん子氏

町村議会 議員研修会

8月2日千葉県町村議会議長主催による千葉県町村議会議員研修会がオークラ千葉ホテルで開催されました。講師に慶応大学教授の小林良彰氏と、明治大学教授の牛山久仁彦氏のお二人を招いて講演が行われました。

小林氏は「参院選にみる有権者意識と道州制の問題点」について、牛山氏は「自治体議会の課題と展望」についてと題し、講演いただきました。

長生郡町村議会 議員・事務局職員 合同研修会

10月1日議員・事務局職員研修会がプラザヘイアン茂原で開催されました。

参議院議員三原じゅん子氏を講師に迎え「守ってあげたい。いのちを懸けて」と題し、政策の問題、取り組みについて講演をいただきました。

議会活動日誌

月日	行事内容	月日	行事内容
8月	1日 長生病院運営委員会	9月	24日 学校等問題調査検討委員会
	2日 県町村議会議長会研修会		24日 農業委員会総会
	4日 30周年記念事業(社会教育関係)会議		25日 例月出納検査
	6日 農業集落排水事業建設委員会		26日 広域市町村圏組合決算審査特別委員会
	8日 決算審査(～9日)		26日 長生郡町村議会議長会臨時会
	22日 例月出納検査	10月	1日 郡町村議会議員・事務局合同研修会
	23日 九十九里地域水道企業団理事会		2日 議会だより編集特別委員会
	23日 農業委員会総会		3日 決算審査特別委員会(～4日)
	25日 30周年記念事業(社会教育関係)会議		5日 こども園運動会
	27日 広域市町村圏組合議会定例会		6日 第5支団秋季訓練
	27日 一宮聖苑組合議会		13日 町制施行30周年記念式典
	28日 学校等問題調査検討委員会		15日 議会だより編集特別委員会(～16日)
	29日 国民健康保険運営協議会		19日 結婚50周年(金婚式)祝賀会
	9月		2日 議会運営委員会 全体会議 全員協議会
4日 ふれあい食卓便出発式		23日 例月出納検査	
5日 かずさ有機センター運営協議会		24日 第49回消防殉職者慰霊祭	
6日 30周年記念事業実行委員会		25日 議会だより編集特別委員会	
7日 睦沢中学校体育祭		28日 郡町村議会議長会視察(～29日)	
11日 第3回議会定例会(～12日)		30日 学校等問題調査検討委員会	
21日 土睦・瑞沢小学校運動会			

町の歴史・文化財紹介
陸沢町指定有形文化財

「歓喜寺御朱印状」

歓喜寺は寺崎地区にある

天台宗の寺院で、古い由緒があります。伝えによれば、嘉祥2(850)年に比叡山延暦寺の座主(最高位の僧侶)慈覚大師円仁が布教のため東国に来たとき本納で仏堂を創立し、本尊阿弥陀如来と観音・勢至の両菩薩を安置したことに始まったということです。

長享2(1488)年、土気城主酒井定隆が、土気城から眼界の及ぶ限りの範囲の寺院に対して法華宗に改宗しなければ破却するという布告を出しました。これを七里法華の改革といいますが、歓喜寺はこの難を避けて、本納から寺崎に移転してきました。

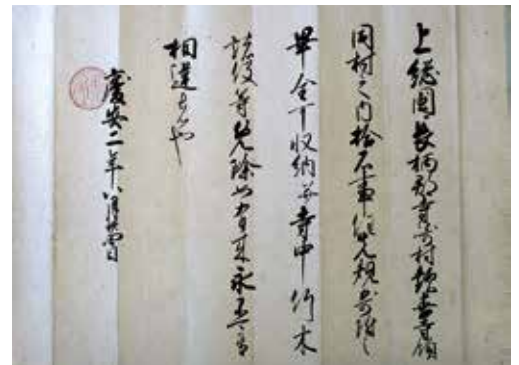
江戸時代になり、歓喜寺は徳川将軍家から御朱印状を拝領しました。御朱印状は徳川将軍が大名や寺社に領地を与えた文書で、文書の奥に朱色の印を押した

ものです。

歓喜寺には徳川将軍歴代のうち、(3代)家光以下、(5代)綱吉・(8代)吉宗・(9代)家重・(10代)家治・(11代)家斉・(12代)家慶・(13代)家定・(14代)家茂の9代から受けた9通の朱印状が確認されています。

将軍の代替わりのときの御朱印改めの手続きでは、前將軍の御朱印状(前判)を提出し、新將軍の御朱印状と引き換えて前判の御朱印状とともに返付され、寺領の確認を受けました。歓喜寺はこれをくり返して、9通もの徳川將軍家の御朱印状が蓄積したものと考えられます。

歓喜寺の御朱印状のうち、もつとも早い時期のものは慶安2(1649)年8月24日付けの3代將軍徳川家光の御朱印状です。



歓喜寺の徳川家光御朱印状

(書き下し文)
「上総国長柄郡寺崎村歓喜寺領、同村之内十石の事、先規に任せこれを寄附し畢んぬ。全く收納すべし。並に寺中の竹木諸役等免除すること有来の如く永く相違有るべからざるものなり。
慶安二年八月廿四日
(家光朱印)」

内容は、上総国長柄郡寺崎村の歓喜寺の領地について同村のうちから10石を認め、先例によりこれを与えてるので受け取りなさい、また寺の竹や樹木のことをはじめ様々な負担は今までのように不要であることは間違いないというもので、日

付の次の行に「家光」という御朱印が押されています。

歓喜寺の御朱印状は学術的価値が高く、1986(昭和61)年3月31日、陸沢町指定文化財になりました。陸沢町立歴史民俗資料館

学芸員 久野一郎

今回をもって、「町の歴史・文化財紹介」の連載を終了し、別の企画にいたします。

長期にわたり、執筆いただいた、久野一郎学芸員には感謝申し上げます。

編集後記

早いもので編集後記も2回目となりました。

私なりに色々紙面を工夫してきましたつもりではありますが、まだまだ作り手側の都合や、作り手が専門用語を知っているが故の読者への至らなさが見えています。と思います。

私個人の意見としては、議会だよりは中高生にもわかりやすいレベルにすべきだと思います。

どうでしょうか。常日頃私どもはわかりやすい議会だよりを目指しているとありますが読者の皆様、議会だよりはわかりやすいですか。

是非ご意見をお聞かせ下さい。

S・T